

教 育 課 程 表

第三学年用	令和6年度		第3学年			普通科目
						教科の備考
	学級数		1			
教科	科目	標準 単位数	学年（年次）			計
			1	2	3	
国語	現代の国語	2		3		7
	言語文化	2	2			
	文学国語	4			2	
地理 歴史	地理総合	2			2	4
	歴史総合	2		2		
公民	公共	2	2			2
数学	数学Ⅰ	3	3			8 11
	数学Ⅱ	4		3		
	数学Ⅲ	3			3	
	数学A	2			2	
理科	物理基礎	2		3		7 10
	物理	4			3	
	化学基礎	2	2			
	生物基礎	2			2	
保健 体育	体育	7～8	2	2	3	9
	保健	2	1	1		
芸術	美術Ⅰ	2	&2			2
	書道Ⅰ	2	&2			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3			7
	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	
家庭 情報	家庭基礎	2	2			2
	情報Ⅰ	2				「工業情報数理」で代替
普通科目 小計			19	16	13 19	48 54
工業	工業技術基礎	2～6	2			2
	課題研究	2～6			3	3
	化学技術工学実習	4～25	2	4	4	10
	化学技術工学製図	2～10		2		2
	工業情報数理	2～4	2			2
	工業化学	6～12	2	3	3 !2	8・10
	化学工学	2～6		2	!2	2・4
地球環境化学	2～6	2	2	!2	4・6	
専門科目 小計			10	13	16 10	39 33
総合的な探究の時間		3～6	0	0	0	0
自立活動						
履修単位数			29	29	29	87
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
卒業に必要な修得単位数			74単位			
備 考			3年生：！（6単位） ・普通科目（数学Ⅲと物理）と専門科目の選択			

【文学国語】

文学国語はこんな科目です。

教科	国語	学科	全科	単位数	3年 2単位
使用教科書	標準 文学国語 (第一学習社)		副教材等	・標準文学国語 学習課題集 (第一学習社) ・いきいきとアライブ国語常識 総合演習・実践対策(浜島書店)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。
- ② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高めます。
- ③ 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。
- ④ 就職や進学試験の時期に合わせて履歴書・自己アピール・小論文などを書く練習を行い、進路実現に役立てます。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・随想 (花のいざない・真珠の首飾りの女) ・小説 (こころ・ひよこの眼・山月記・夏の花・卒業) ・詩 (永訣の朝・短歌俳句) ・表現 (実用的な文章) 	<ul style="list-style-type: none"> ・随想を読んで筆者のものの見方や感じ方等を読み取ります。 ・小説に親しみ、情景や人物の心情を読み味わい、人間の多面性に触れます。 ・詩を読んで作者の心情を読み解きます。また、短歌俳句の創作に挑戦します。 ・社会人になった時必要とされる実用的な文章の書き方を学びます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	表現と理解に役立てるための音声・文法・表記・語句・語彙・漢字等を理解し、知識を身に付けている。
思考・判断・表現	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いている。
主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしている。目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・提出された課題 ・定期考査と課題テスト ・授業ノート(プリント) ・授業中の学習の様子(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) これらをもとに、総合的に判断します。	

担当者からのメッセージ

文学国語は小説、随筆、詩歌、脚本等に描かれた人物の心情や情景、表現の仕方等を読み味わうことを目的とした科目です。また、それらの創作に関わる能力を育成するため、主として「思考力・判断力・表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成することを重視します。近代以降の文学作品を読み、読書の楽しみを見つけていきましょう。

【地理総合】

地理総合はこんな科目です。

教科	地理歴史	学科	全科	単位数	3年 2単位
使用教科書	・高校生の地理総合 ・標準高等地図 (帝国書院)		副教材等	図説地理資料 世界の諸地域 NOW2024 (帝国書院)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ・グローバル化や情報化、少子高齢化など急激な社会の変化を地理的な視点で捉えながら、地理的
技能や見方・考え方を習得します。
- ・この世界で起きていることの位置や分布、場所、人間と自然との関わりなどに着目して、多面的
・多角的に考え、議論する力を高めます。
- ・この世界の課題について、主体的に追究、解決しようとする態度を養います。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3 年	・地図や地理情報 システムでとら える現代社会 ・国際理解と国際 協力 ・持続可能な地域 づくりと私たち	・地球儀や地図から地球の特色をとらえ、日本及び世界が抱える現代社 会の諸問題について学びます。 ・地形・気候などの自然環境が生活・文化に影響を与え、諸地域独特の 特色を形成していることを学びます。 ・身近な地域生活・文化を学ぶとともに、地球規模の課題に気づき、国 として自分としてできることを考えます。 ・日本や地域の自然環境と災害について認識を深め、防災の知識と関心 を高めます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や地球的課題への取組などを理解している。また、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想・考察し、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論することができる。
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象の課題を主体的に追究、解決し、多面的・多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することに対する自覚などを深めようとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。 ・課題、提出物 ・定期考査 ・その他教科担任の実施した小テスト等 ・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）	

担当者からのメッセージ

日頃から基礎的な地理の知識を身に付け、グローバルな視野を広げられるように学習活動を行っていきましょう。

【数学Ⅲ】

数学Ⅲはこんな科目です。

教科	数 学	学 科	※選択学科	単位数	3年3単位（選択）
使用教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）		副教材等	新課程 Study-Upノート数学Ⅲ（数研出版）	

※機械工学科群、電気・電子工学科群（電子工学科、情報技術工学科）、化学技術工学科で選択可能です。

こんな力を付けることを目標としています。

<p>極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てることを目標とします。</p>

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3年	関数 極限 微分法 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数、無理関数の定義域を求め、グラフを描きます。 ・合成関数、逆関数について理解します。 ・数列とその極限の概念について学び、それを求めます。 ・無限級数の和を求めます。 ・いろいろな関数の導関数を求めます。 ・導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたりグラフの概形を描いたりします。 ・不定積分および定積分の基本的な性質を理解します。 ・置換積分法、部分積分法について理解します。 ・いろいろな関数の不定積分、定積分を求めます。 ・定積分を利用して、図形の面積や立体の体積を求めます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	関数、極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則について理解している。また、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりしている。
思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題、提出物 ・定期考査 ・その他教科担任の実施した小テスト等 ・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など） 	

担当者からのメッセージ

<p>高校数学の集大成とも言える微分・積分をこの数学Ⅲでより深く学ぶこととなります。数学Ⅰ数学Ⅱで学んできた内容のほとんど全てを用いて、どんどん進んでいきます。これをやらないと、高校で数学を学んだ意味がないと言う人もいるくらいの濃い内容です。数学Ⅲを通して、これまで積み重ねてきた数学の1つの完成を見てください。理系の4年生大学に進学する人には必要な科目です。</p>
--

【数学A】

数学Aはこんな科目です。

教科	数学	学科	全科	単位数	3年2単位
使用教科書	新編 数学A (数研出版)		副教材等	・新課程 Study-Upノート数学A (数研出版)	

こんな力を付けることを目標としています。

場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てることを目標とします。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3年	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> 集合の要素の個数を求めることができるようにします。 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深めます。 順列、組み合わせの意味を理解し、その総数を求めます。 試行、事象および確率の意味を具体的な例で理解します。 確率の基本的な性質を理解し、応用できるようにします。 平面図形と空間図形について、知識を深めます。 図形の構造を直感的に見出し、それを論理的に示すことで、総合的な力を養います。 約数、倍数の意味を理解します。 最大公約数、最小公倍数について理解します。 ユークリッドの互除法について理解します。 整数の性質について理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにします。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	基本的な概念、原理や法則などを体系的に理解し基礎的な知識を身に付けている。また、事象を数学化して処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題、提出物 ・定期考査 ・その他教科担任の実施した小テスト等 ・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など） 	

担当者からのメッセージ

数学Aの各単元の内容は、数学Iや数学IIなどの他の科目と比べ、身近な事象について扱われています。また、これまでの算数・数学の学習内容から独立した内容が多く、数学が苦手な人も取り組みやすい内容になっています。そのため、積極的な姿勢で授業に取り組むことで、これまでの数学が苦手だった人も「わかる！できる！」と思う可能性がありますので、しっかりと取り組みましょう。また、数学を学習する上で養われる論理的に考え、それを表現する力は、この先社会に出て必要とされる能力の1つです。この論理的思考力を養うためにも主体的に数学の学習に取り組んでください。

【物 理】

物理はこんな科目です。

教 科	理 科	学 科	選択学科	単位数	3年 3単位 (選択※)
使用教科書	総合物理 1、2 (数研出版)		副教材等	フォローアップドリル物理 (数研出版)	

※機械工学科群、電気・電子工学科群（電子工学科、情報技術工学科）、化学技術工学科で選択可能です。

こんな力を付けることを目標としています。

- ①物理的な事物・現象について実験・観察を行い、自然に対する関心や探究心を高めます。
- ②物理の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成します。
- ③大学等へ進学し学習する基礎学力や知識・考え方を身に付けます。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3 年	① 力と運動	・運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方にに基づき、物体の運動を観察や実験などを通して探究し、力と運動に関する概念や原理や法則を系統的に理解し活用する方法を学びます。
	② 熱と気体	・熱をエネルギーの視点から捉え、自動車、飛行機のエンジンなど機械的なエネルギーへの変換する考え方を学びます。
	③ 波	・水面波、音、光などの波動現象を観察、実験などを通して探究し共通する基本的概念や法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できるようにします。
	④ 電気と磁気	・電気や磁気に関する現象を観察や実験などを通して探究し、基本的概念や法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにします。
	⑤ 原子	・原子や電子及び原子核に関する現象を観察や実験などを通して探究し、原子についての基本的概念や原理や法則を理解します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	物理的な現象や事物について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識・技能を身に付けている。実験の基本操作などを習得し、実験の過程や結果を的確に記録・整理し、科学的に探究している。
思考・判断・表現	理解し身に付けた知識・技能を活用し、課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	物理的な知識や技能を身に付けようと授業や実験に粘り強く取り組み、その学習結果を次に生かそうと努力している。
各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・課題等の提出物 ・定期考査 ・授業ノート ・実験レポート ・小テスト ・授業中の学習の様子（学習活動への参加状況） などをもとに、上記の観点を踏まえ、総合的に評価します。	

担当者からのメッセージ

この科目は進学を目指す人が入試科目として利用したり、進学先で必要な知識の習得を目指したりするための科目です。この科目は、家庭でも問題演習に毎日取り組む等の学習が必要です。しっかり学習して目標を達成する力を付けてほしいと願っています。

【生物基礎】

生物基礎はこんな科目です。

教科	理科	学科	全科	単位数	3年 2単位
使用教科書	「生物基礎」実教出版		副教材等	サンダイヤル 生物基礎の基本マスター 改訂版 (啓林館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①生物学的な事物・現象について実験・観察を行い、自然に対する関心や探究心を高めます。
- ②生物の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観の育成を目指します。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3年	①生物の特徴 ②遺伝子とその働き ③生物の体内環境とその維持 ④生物の多様性と生態系	・細胞の構造や働き、代謝、呼吸、光合成などについて知り、生命活動がどのように営まれているかを学びます。 ・細胞分裂のしくみや遺伝子（DNA）の構造と機能について学びます。 ・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを知り、体内環境の維持と健康との関係について学びます。 ・生態系の成り立ちを知り、その保全の重要性について学びます。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	生物実験の基本操作などを習得し、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探究している。
思考・判断・表現	生物学的な現象や事物の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	生物学的な自然現象に対して興味・関心を高め、意欲的に課題を追求する態度を身に付けている。
各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、 ・課題等の提出物 ・定期考査 ・ノートの確認 ・授業中の学習の様子（学習活動への参加状況） などをもとに、上記の観点を踏まえ、総合的に評価します。	

担当者からのメッセージ

生物学は、私たち人間も含めた多種多様な生物について学ぶ学問です。多くの生物に共通する基本的な構造や理論を理解し、目的意識を持って学習・実験・観察を行い、自然現象を生物学的に探究する能力と態度を身に付けましょう。

物理や化学と同様、自然科学の一分野ですが、計算などはあまりありません。しかし理論と知識は大切です。まだわかってないことも多くある学問ですが、みなさんと一緒に生命の不思議と魅力を学んでいきましょう。

【体 育】

体育はこんな科目です。

教 科	保健体育	学 科	全科・群	単位数	1年2単位 2年2単位 3年3単位
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)		副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)	

こんな力を付けることを目標としています。

- ①運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けるようにします。
- ②運動の課題を発見し、解決に向けて思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養います。
- ③運動を継続して親しむために、競争や協働の経験を通して、公正・協力・責任・参画・他者の違いを大切にすることの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
1年	体づくり運動 バレーボール 柔道 バスケットボール 陸上(長距離走) サッカー 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の体育授業を理解し、集団行動の様式を身に付けます。 ・バレーボールの基本的な技能を身に付けます。 ・基本動作や基本的な技を用いて、安全な受け身と寝技を身に付けます。 ・バスケットボールの基本的な技能を身に付けます。 ・長距離走の基本的な知識を理解し、自己設定タイムで走りきります。 ・サッカーの基本的な技能を身に付けます。 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解します。
2年	体づくり運動 柔道 バレーボール サッカー 陸上(長距離走) バスケットボール 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の様式を確認し、身に付けます。 ・安全に配慮しながら技をかけられるようにします。 ・基本技能を用い、ゲームの中で三段攻撃ができるようにします。 ・縦横に広がりスペースを使ったゲームができるようにします。 ・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。 ・移動しながらパス・シュートができるようにします。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解します。
3年	体づくり運動 柔道・サッカー バレーボール・バスケットボール 卓球・ソフトボール 陸上(長距離走) 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや、心地よさを味わい実生活に役立てます。 ・1、2年生で学んだ技を生かし、試合ができるようにします。 ・チームの構成メンバーを生かしたゲームができるようにします。 ・状況に応じた攻防ができるようにします。 ・目標タイムを設定し、走りきることができるようにします。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。

こんなふうに評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	運動の多様性や体力の必要性について理解し、それらの技能が身に付いている。
思考・判断・表現	運動の課題を発見し、解決に向けて工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の活動を通して、公正・協力・責任・参画などの態度があり、一人一人の違いを大切しながら健康・安全を確保しようとしている。
これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの評価方法としては、授業中の学習の様子、グループノートの提出、パフォーマンステスト、記録会や試合の結果、ゲーム中の参加状況をもとに、総合的に判断します。	

担当者からのメッセージ

「全ての生徒が体育の授業が待ち遠しくて仕方がない」くらい楽しみな時間にしたいものです。そのためには、ただ体を動かすだけでなく仲間と課題を見つけ出し、科学的な理解のもとに運動するとともに他者を尊重しながら活動する習慣を身に付けることが大切です。前向きに取り組んでくれることを期待しています。

【英語コミュニケーションⅡ】

英語コミュニケーションⅡはこんな科目です。

教科	外国語	学科	全科	単位数	3年 2単位
使用教科書	Power On English Communication Ⅱ (東京書籍)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・Power On Work book English Communication Ⅱ (東京書籍) ・改訂版FollowUp英文法基本ドリル (数研出版) ・チャンクで英単語Basic第2版 (三省堂) 	

こんな力を付けることを目標としています。

<ul style="list-style-type: none"> ・将来に於いていつでも学びなおしができる確かな基礎学力を身に付けます。 ・日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができます。 3. 多様な語句や文を用いて、必要な情報を読み取り、相手の意図や概要、要点を目的に応じて捉えられるようにします。 4. 多様な語句や文を用いて、基礎的な語句や文を用いて、必要な情報、意見などを話し、やり取りや論理的伝達ができるようにします。
--

学習の内容

学年	学習内容	学習のポイント
3年	Lesson 5 Design for Connecting Society : Braille Neue	【題材内容】 ユニバーサルデザインのフォントについての雑誌記事 【言語材料】 助動詞+受け身、S+V+C [分詞]、if 節、It seems [appears] +that 節
	Lesson 6 New Banknotes	【題材内容】 2024年に新紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事 【言語材料】 形式目的語 it と that 節、形式目的語 it と to 不定詞、助動詞+完了
	Lesson 7 Some Secrets about Colors	【題材内容】 色が私たちに与える影響や色のもつ心理的効果についての論説文 【言語材料】 関係代名詞(所有格)、同格の that、前置詞+関係代名詞、非制限用法
	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	【題材内容】 納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文 【言語材料】 強調構文、強調の do、文を先行詞とする関係代名詞、to+have+過去分詞
	Lesson 9 Flying after Her Dreams	【題材内容】 アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記 【言語材料】 譲歩の副詞節、no matter 疑問詞、仮定法過去完了、分詞構文(過去分詞)
	Lesson 10 To Work or Not to Work? : Humans and Robots	【題材内容】 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 【言語材料】 過去完了進行形、be+to 不定詞、未来完了形、insist など+that

このように評価をします。

評価は次の3つの観点から行います。	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で学習した語彙、文法、発音、用法などについて理解している。 ・学んだ内容に関連したことについて、目的や課題に応じて自分の表現したいことを論理的にまとめている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、日常的な話題や社会的な話題についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。

主体的に学習に取り組む態度	・自分の目的や課題に応じて、学んだことを活用しまとめたことを、的確な情報や自分の考えと併せて、相手に伝えようとしている。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や單元ごとの具体的な評価方法としては、次のものをもとに総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none">・課題、提出物・定期考査、課題考査・その他教科担任の実施した小テスト等・授業中の学習の様子（学習活動への取り組み状況、発言の内容など）	

担当者からのメッセージ

これまでに身に付けた基礎基本を土台に様々な形態で授業を展開します。テキストの内容も量も多くなり、進度も早くし、「多読」を目指しますので、毎時の予習復習はもとより、1、2年次の既習事項をいつでも振り返ることができるように工夫してください。